

工事車両の運行管理について

○ ICTを活用した工事車両の運行管理（検討中イメージ）

① 南北ルート別、時間帯別上限台数の設定

- ・ 交通量調査や配分調整会議等の結果を踏まえ、ルート別（北・中央・南）、時間帯別の通行可能台数を設定（上限）

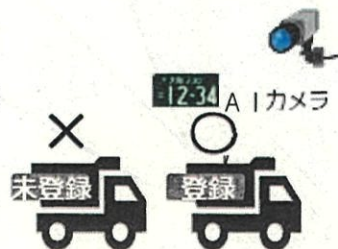
② 工事車両の事前登録

- ・ 夢洲に来る、夢洲から出る工事車両をパソコン等で事前登録（車両ナンバー）
- ・ 必要に応じて事業者間で台数調整



③ 工事車両の運行確認

- ・ 登録した車両が橋・トンネルに設置したAIカメラ等で通行確認（ナンバー読み取りを検討）
- ・ 入退場ゲート到着時に車両情報を確認し、登録車両のみが通過可能（未登録車両は、別途登録）



④ 運搬計画と実際の通行状況の把握

- ・ 事前に登録した運搬計画（日時、ルート、台数）と運行確認から得た情報を比較し、違反事業者に警告



- ・ 異なる事業の多くの工事車両が、時間帯毎に配分された台数を遵守しているかを管理していく必要があることから、**ICTを活用した運行管理システムを構築**していく必要がある。
- ・ R5年度には、万博工事が本格化し、IR工事の着手も見込まれていることから、今年度に管理手法を確立し、R4年には試行実施を行う必要がある。

夢洲における物流交通対策について～万博開催時の物流交通対策（案）～

○道路上に滞留する入場待ちコンテナ車両の滞留抑制対策 → ①②③④

○夢洲発着のコンテナ車両の削減に資する対策 → ⑤

(※2)
R4.1.31に全
体供用開始

②車両待機場の整備(※2)
(240台分確保)



①COMPAS(※1)の導入
(ゲート処理時間の短縮等)

(※1) Container Fast Passの略
R4.1.27,28に第1回試験運用を実施
R5年度の常時運用を目指す

③ターミナルゲート時間延長
(30分で最大200台分散)



(通常) 平日：8:30～11:30,13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

④荷捌き地の拡張(ゲート増設)
(ゲート前待機スペース100台分確保)
(ゲート増設により、1時間当たり120台削減)



⑤咲洲へシフト

②車両待機場の整備
(150台分確保)

⑤咲洲へシフト(※3)

- ⑤-1. 船舶着岸場所の咲洲シフト
- ⑤-2. 空コンテナ返却場所の咲洲シフト

(※3)
夢洲発着のコンテナ車両
現状 約 9,000台
将来 約12,800台
万博時は約12,800台のうち、
約3,000台をシフト

(写真はイメージ) ≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中でのみの対策≫

夢洲における物流交通対策について ～物流交通対策概略工程（案）～



項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム(CONPAS)		概略・詳細設計、 試験期間中の改修	試験 運用等	順次 導入	常時運用		
②車両待機場	コンテナ車両待機場の追加整備(夢洲)		詳細設計	工事	供用開始			
	コンテナ車両待機場の追加整備(咲洲)		概略設計	詳細設計	工事	供用開始		
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長	社会実験				社会 実験		実施
		検討・協議等						
④荷捌き地の拡張(ゲート増設)	C12コンテナターミナル拡張※、ゲート増設 (※増設ゲート周辺部分)	検討・協議等	詳細設計		コンテナターミナル拡張工事 増設ゲート工事	運用		
⑤咲洲ヘシフト	船舶着岸場所の咲洲シフト ・空コンテナ返却場所の咲洲シフト	検討・協議等	詳細設計		ガントリークレーン整備	試行期間	本格稼働	
			社会実験	社会実験		社会実験		

夢洲における物流交通対策について ～物流交通対策の進捗状況～

① 新・港湾情報システム (COMPAS) の導入

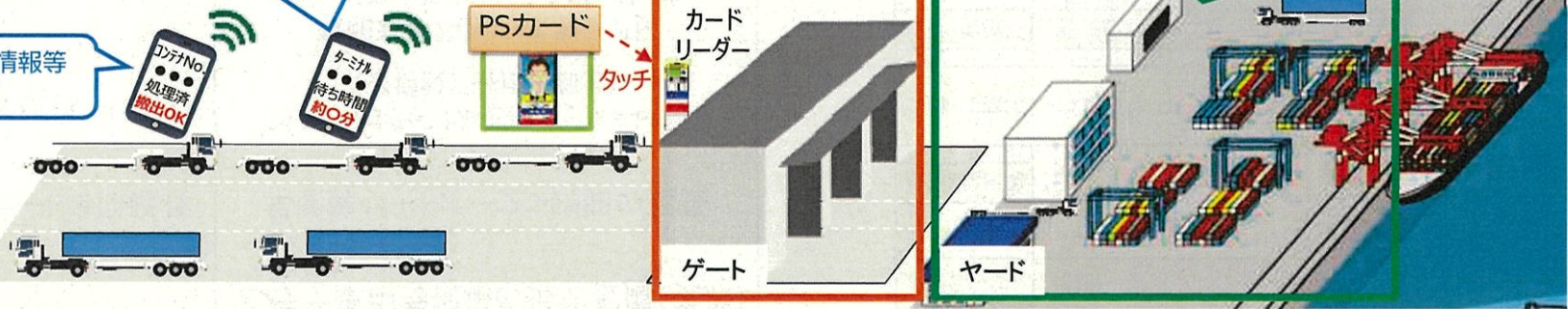
【イメージ図】

・携帯端末内のGPSを活用
⇒車両接近情報をターミナルに送信
⇒ゲート前滞留状況の可視化

トラックドライバーの個人認証カード「PSカード」の活用等
⇒ゲート処理時間の短縮

車両接近情報の取得
⇒ターミナル内で搬出するコンテナを取り出しやすい位置
へ事前に移動させることで、荷受けの待ち時間の減少

・搬出可否情報等の
提供など



・令和4年1月27日、28日 大阪港 (DICT) において試験運用を開始予定 ⇒ 令和5年度までの導入をめざす

② 車両待機場の整備

約80台分
R3.12.1供用開始
既設200台 + 拡張80台

約160台分
R4.1.31供用開始予定

約150台分
R4年度末完成予定

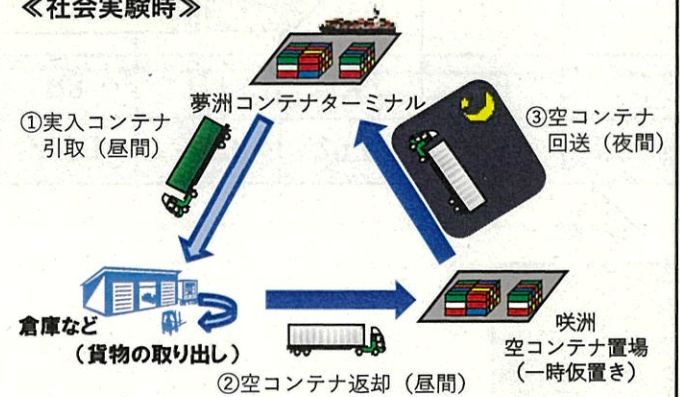


⑤-2 空コンテナ返却場所の咲洲シフト

《通常》



《社会実験時》



・令和3年10月18日～30日 社会実験を実施 (実施本数：1,070本/12日間) (日曜除く)

※平日13時時点の空コンテナ返却車両の夢洲道路上待機台数が155台/日から123台/日 (▲21%) に減少